

非公表

補助金等評価調書

(委員名;)

番号	補助金等の名称	担当課名
16	スズメバチの巣駆除費補助金	環境保全課

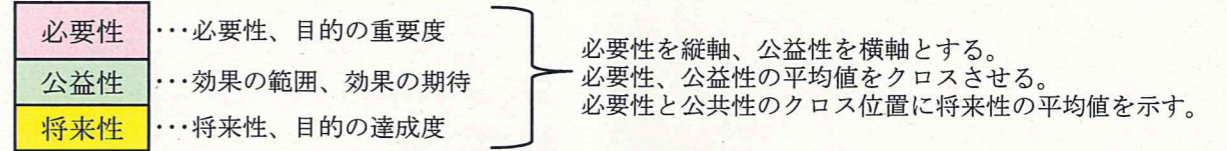
● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

補助事業の位置付けの判断	必要性	交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。 交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。 交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。	委員評価		交付当初の市民ニーズ又は行政需要が現在も存在するかを評価します。
			<input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 1	0	
補助事業の位置付けの判断	将来性	事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業を進めていく上で、その事業効果の程度について評価します。
		事業を続けてもその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3		
		事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。	<input type="checkbox"/> 1		
補助事業の位置付けの判断	目的の重要度	目的が市の施策達成に大きな役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市の施策とどのような関わりがあるのかについて評価します。
		目的が市の施策達成にある程度の役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 3		
		目的が市の施策とは関連が薄いもの	<input type="checkbox"/> 1		
		目的が市の施策とは関連が全くないもの	<input type="checkbox"/> 0		
補助金支出の適正性の判断	目的達成度	目的は達成しているが、更に拡大する余地がある。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業の目的達成度を評価する（終期の設定との関わり）。
		目的は達成していないが、達成する見込みはある。	<input type="checkbox"/> 3		
		目的は達成し終えている。	<input type="checkbox"/> 1		
補助金支出の適正性の判断	効果の範囲	効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市民に対してどの程度の行政効果を生むのかを評価する。
		効果は適度に市民におよぶもの	<input type="checkbox"/> 3		
		効果が特定の個人や団体に限られるもの	<input type="checkbox"/> 1		
補助金支出の適正性の判断	効果の期待	事業の実施に伴いその効果が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業内容の適正性を評価する。
		事業を実施するがその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3		
		事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。	<input type="checkbox"/> 1		
		社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。	<input type="checkbox"/> 1		

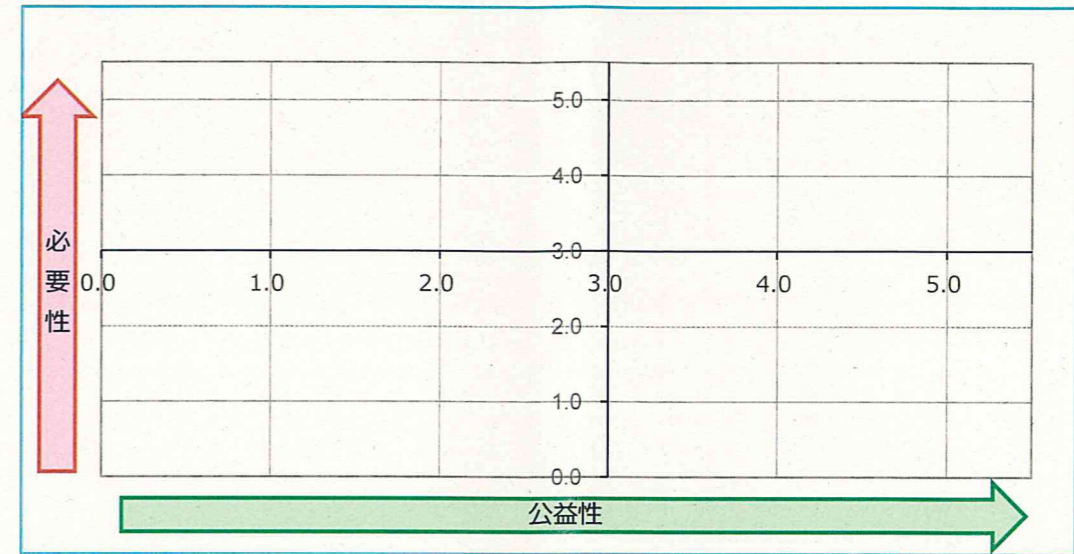
● 該当するもの全てにチェックしてください。

その他の評価	経費的な観点	会計処理及び使途が適切である。	<input type="checkbox"/>	個々の視点から、補助金の支出が妥当であるかを検証します。
		決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。	<input type="checkbox"/>	
		他市の同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。	<input type="checkbox"/>	
	形態的な観点	形式的、習慣的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の使途が曖昧ではない。	<input type="checkbox"/>	
		同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。	<input type="checkbox"/>	
		補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。 市の直接経費として計上することが適切ではない。	<input type="checkbox"/>	
団体運営費補助金等	団体運営費	団体等が事業効果の向上に努力している。	<input type="checkbox"/>	上記の視点に加えて団体の運営等に関する視点からも評価します。
		交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		直接事業に係わらない視察旅行(慰労的)に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		団体経費の大半が運営費ではない。	<input type="checkbox"/>	
		決算額に対して会議費等の割合が高くない。	<input type="checkbox"/>	
		会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。 自主運営に移行する努力を行っている。	<input type="checkbox"/>	

※ 「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。



《 補助金等評価相関図 》



《 補助金等評価委員の意見 》

公益性について	<効果の範囲及び効果の期待について>
---------	--------------------

必要性について	<必要性及び目的の重要度について>
---------	-------------------

将来性を踏まえた今後のあり方	<将来性及び目的達成度について>
----------------	------------------

非公表

補助金等評価調書

(委員名:)

番号	補助金等の名称	担当課名
17	地下水汚染に係る浄水器設置費補助金	環境保全課

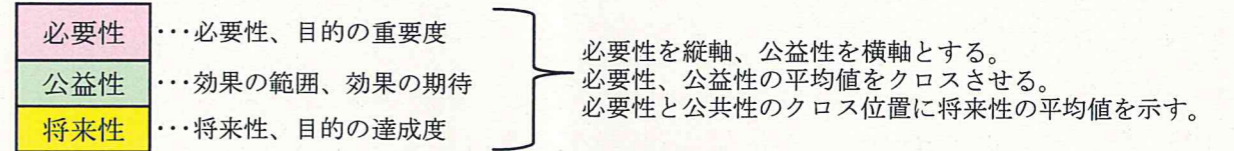
● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

		委員評価					
補助事業の位置付けの判断	必要性	交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。	<input type="checkbox"/> 5	0	交付当初の市民ニーズ又は行政需要が現在も存在するかを評価します。		
		交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。	<input type="checkbox"/> 3				
		交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。	<input type="checkbox"/> 1				
	将来性	事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5			0	補助事業を進めていく上で、その事業効果の程度について評価します。
		事業を続けてもその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3				
		事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。	<input type="checkbox"/> 1				
目的の重要度	目的が市の施策達成に大きな役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市の施策とどのような関わりがあるのかについて評価します。			
	目的が市の施策達成にある程度の役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 3					
	目的が市の施策とは関連が薄いもの	<input type="checkbox"/> 1					
	目的が市の施策とは関連が全くないもの	<input type="checkbox"/> 0					
補助金支出の適正性の判断	目的達成度	目的は達成しているが、更に拡大する余地がある。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業の目的達成度を評価する（終期の設定との関わり）。		
		目的は達成していないが、達成する見込みはある。	<input type="checkbox"/> 3				
		目的は達成し終えている。	<input type="checkbox"/> 1				
	効果の範囲	効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市民に対してどの程度の行政効果を生むのかを評価する。		
		効果は適度に市民におよぶもの	<input type="checkbox"/> 3				
		効果が特定の個人や団体に限られるもの	<input type="checkbox"/> 1				
効果の期待	事業の実施に伴いその効果が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業内容の適正性を評価する。			
	事業を実施するがその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3					
	事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。	<input type="checkbox"/> 1					
	社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。	<input type="checkbox"/> 1					

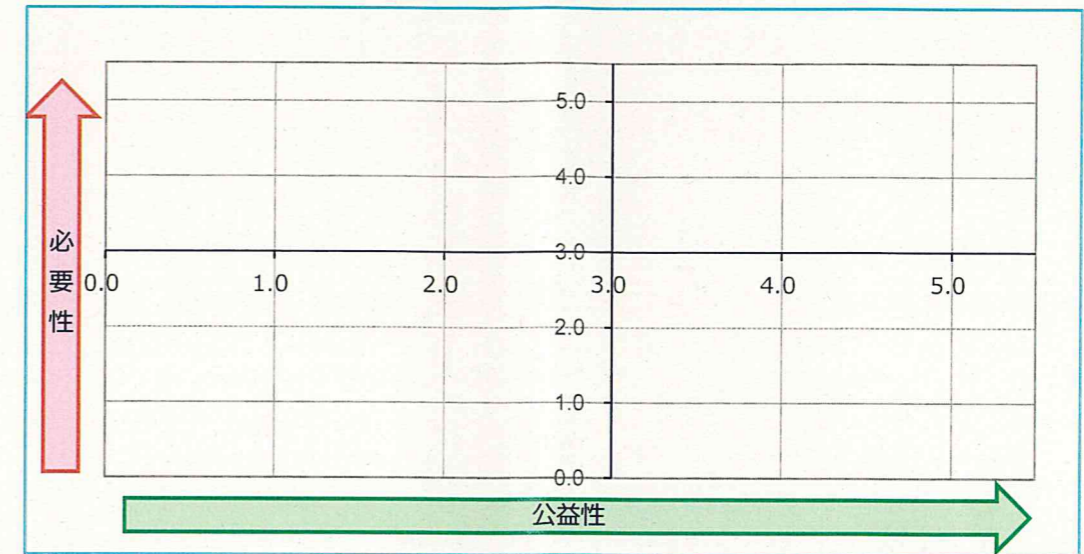
● 該当するもの全てにチェックしてください。

その他の評価	経費的な観点	会計処理及び使途が適切である。	<input type="checkbox"/>	個々の視点から、補助金の支出が妥当であるかを検証します。
		決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。	<input type="checkbox"/>	
		他市の同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。	<input type="checkbox"/>	
		形式的、慣慣的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の使途が曖昧ではない。	<input type="checkbox"/>	
	形態的な観点	同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。	<input type="checkbox"/>	
		補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。 市の直接経費として計上することが適当ではない。	<input type="checkbox"/>	
団体運営費補助金等	団体運営費	団体等が事業効果の向上に努力している。	<input type="checkbox"/>	上記の視点に加えて団体の運営等に関する視点からも評価します。
		交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		直接事業に係わらない視察旅行(慰労的)に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		団体経費の大半が運営費ではない。	<input type="checkbox"/>	
		決算額に対して会議費等の割合が高くない。	<input type="checkbox"/>	
		会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。	<input type="checkbox"/>	
		自主運営に移行する努力を行っている。	<input type="checkbox"/>	

※ 「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。



《 補助金等評価相関図 》



《 補助金等評価委員の意見 》

公益性について

<効果の範囲及び効果の期待について>

.

必要性について

<必要性及び目的の重要度について>

.

将来性を踏まえた今後のあり方

<将来性及び目的達成度について>

.

非公表

補助金等評価調書

(委員名:)

番号	補助金等の名称	担当課名
18	合併処理浄化槽設置事業補助金 (市上乗せ)	環境保全課

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

		委員評価			
補助事業の位置付けの判断	必要性	交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。	<input type="checkbox"/> 5	0	交付当初の市民ニーズ又は行政需要が現在も存在するかを評価します。
		交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。	<input type="checkbox"/> 3		
		交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。	<input type="checkbox"/> 1		
	将来性	事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業を進めていく上で、その事業効果の程度について評価します。
		事業を続けてもその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3		
		事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。	<input type="checkbox"/> 1		
目的の重要度	目的が市の施策達成に大きな役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市の施策とどのような関わりがあるのかについて評価します。	
	目的が市の施策達成にある程度役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 3			
	目的が市の施策とは関連が薄いもの	<input type="checkbox"/> 1			
	目的が市の施策とは関連が全くないもの	<input type="checkbox"/> 0			
補助金支出の適正性の判断	目的達成度	目的は達成しているが、更に拡大する余地がある。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業の目的達成度を評価する(終期の設定との関わり)。
		目的は達成していないが、達成する見込みはある。	<input type="checkbox"/> 3		
		目的は達成し終えている。	<input type="checkbox"/> 1		
	効果の範囲	効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市民に対してどの程度の行政効果を生むのかを評価する。
		効果は適度に市民におよぶもの	<input type="checkbox"/> 3		
		効果が特定の個人や団体に限られるもの	<input type="checkbox"/> 1		
効果の期待	事業の実施に伴いその効果が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業内容の適正性を評価する。	
	事業を実施するがその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3			
	事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。	<input type="checkbox"/> 1			
	社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。	<input type="checkbox"/> 1			

● 該当するもの全てにチェックしてください。

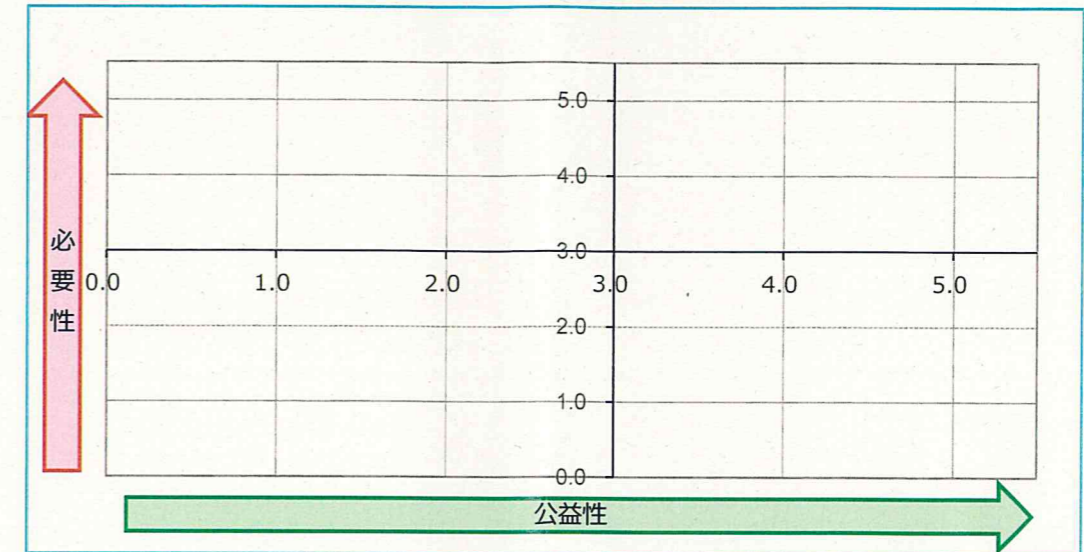
その他の評価	経費的な観点	会計処理及び使途が適切である。	<input type="checkbox"/>	個々の視点から、補助金の支出が妥当であるかを検証します。
		決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。	<input type="checkbox"/>	
		他市の同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。	<input type="checkbox"/>	
	形態的な観点	形式的、慣習的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の使途が曖昧ではない。	<input type="checkbox"/>	
		同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。	<input type="checkbox"/>	
		補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。	<input type="checkbox"/>	
団体運営費補助金等	団体運営費	市での直接経費として計上することが適当ではない。	<input type="checkbox"/>	上記の視点に加えて団体の運営等に関する視点からも評価します。
		団体等が事業効果の向上に努力している。	<input type="checkbox"/>	
		交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		直接事業に係わらない視察旅行(慰労的)に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		団体経費の大半が運営費ではない。	<input type="checkbox"/>	
		決算額に対して会議費等の割合が高くない。	<input type="checkbox"/>	
		会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。	<input type="checkbox"/>	
自主運営に移行する努力を行っている。	<input type="checkbox"/>			

※「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。

必要性 …… 必要性、目的の重要度
 公益性 …… 効果の範囲、効果の期待
 将来性 …… 将来性、目的の達成度

必要性を縦軸、公益性を横軸とする。
 必要性、公益性の平均値をクロスさせる。
 必要性と公共性のクロス位置に将来性の平均値を示す。

《 補助金等評価相関図 》



《 補助金等評価委員の意見 》

公益性について	<効果の範囲及び効果の期待について>
---------	--------------------

必要性について	<必要性及び目的の重要度について>
---------	-------------------

将来性を踏まえた今後のあり方	<将来性及び目的達成度について>
----------------	------------------

非公表

補助金等評価調書

(委員名;)

番号	補助金等の名称	担当課名
19	住宅用省エネルギー設備等設置費補助金 (市上乗せ)	環境保全課

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

		委員評価			
補助事業の位置付けの判断	必要性	交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。	<input type="checkbox"/> 5	0	交付当初の市民ニーズ又は行政需要が現在も存在するかを評価します。
		交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。	<input type="checkbox"/> 3		
		交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。	<input type="checkbox"/> 1		
	将来性	事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業を進めていく上で、その事業効果の程度について評価します。
		事業を続けてもその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3		
		事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。	<input type="checkbox"/> 1		
目的の重要度	目的が市の施策達成に大きな役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市の施策とどのような関わりがあるのかについて評価します。	
	目的が市の施策達成にある程度の役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 3			
	目的が市の施策とは関連が薄いもの	<input type="checkbox"/> 1			
	目的が市の施策とは関連が全くないもの	<input type="checkbox"/> 0			
補助金支出の適正性の判断	目的達成度	目的は達成しているが、更に拡大する余地がある。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業の目的達成度を評価する(終期の設定との関わり)。
		目的は達成していないが、達成する見込みはある。	<input type="checkbox"/> 3		
		目的は達成し終えている。	<input type="checkbox"/> 1		
効果の期待	効果の範囲	効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市民に対してどの程度の行政効果を生むのかを評価する。
		効果は適度に市民におよぶもの	<input type="checkbox"/> 3		
		効果が特定の個人や団体に限られるもの	<input type="checkbox"/> 1		
	効果の期待	事業の実施に伴いその効果が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業内容の適正性を評価する。
		事業を実施するがその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3		
		事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。	<input type="checkbox"/> 1		
		社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。	<input type="checkbox"/> 1		

● 該当するもの全てにチェックしてください。

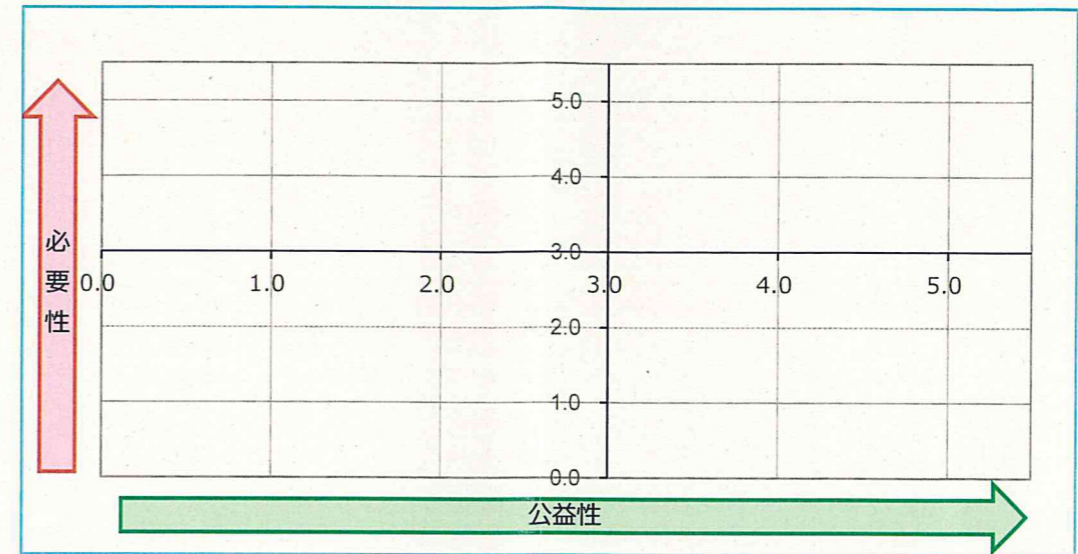
その他の評価	経費的な観点	会計処理及び使途が適切である。	<input type="checkbox"/>	個々の視点から、補助金の支出が妥当であるかを検証します。
		決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。	<input type="checkbox"/>	
		他市の同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。	<input type="checkbox"/>	
		形式的、習慣的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の使途が曖昧ではない。	<input type="checkbox"/>	
	形態的な観点	同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。	<input type="checkbox"/>	
		補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。	<input type="checkbox"/>	
		市の直接経費として計上することが適切ではない。	<input type="checkbox"/>	
団体運営費補助金等	団体運営費	団体等が事業効果の向上に努力している。	<input type="checkbox"/>	上記の視点に加えて団体の運営等に関する視点からも評価します。
		交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		直接事業に係わらない視察旅行(慰労的)に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		団体経費の大半が運営費ではない。	<input type="checkbox"/>	
		決算額に対して会議費等の割合が高くない。	<input type="checkbox"/>	
		会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。	<input type="checkbox"/>	
		自主運営に移行する努力を行っている。	<input type="checkbox"/>	

※「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。

必要性 …… 必要性、目的の重要度
 公益性 …… 効果の範囲、効果の期待
 将来性 …… 将来性、目的の達成度

必要性を縦軸、公益性を横軸とする。
 必要性、公益性の平均値をクロスさせる。
 必要性と公共性のクロス位置に将来性の平均値を示す。

《 補助金等評価相関図 》



《 補助金等評価委員の意見 》

公益性について	<効果の範囲及び効果の期待について>
---------	--------------------

必要性について	<必要性及び目的の重要度について>
---------	-------------------

将来性を踏まえた今後のあり方	<将来性及び目的達成度について>
----------------	------------------

非公表

補助金等評価調書

(委員名:)

番号	補助金等の名称	担当課名
24	障害者団体連絡協議会等補助金	障がい福祉課

● それぞれ該当するもの1つにチェックしてください。

		委員評価			
補助事業の位置付けの判断	必要性	交付開始時以上に市民ニーズ、行政需要が拡大している。	<input type="checkbox"/> 5	0	交付当初の市民ニーズ又は行政需要が現在も存在するかを評価します。
		交付開始時とニーズ、需要は変わっていない。	<input type="checkbox"/> 3		
		交付開始時と比較してニーズ、需要が減少している。	<input type="checkbox"/> 1		
	将来性	事業を続けることによって更なる効果の拡大が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業を進めていく上で、その事業効果の程度について評価します。
		事業を続けてもその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3		
		事業を続けてもその効果は減少するか、もしくは得られない。	<input type="checkbox"/> 1		
目的の重要度	目的が市の施策達成に大きな役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市の施策とどのような関わりがあるのかについて評価します。	
	目的が市の施策達成にある程度の役割を果たすもの	<input type="checkbox"/> 3			
	目的が市の施策とは関連が薄いもの	<input type="checkbox"/> 1			
	目的が市の施策とは関連が全くないもの	<input type="checkbox"/> 0			
補助金支出の適正性の判断	目的達成度	目的は達成しているが、更に拡大する余地がある。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業の目的達成度を評価する（終期の設定との関わり）。
		目的は達成していないが、達成する見込みはある。	<input type="checkbox"/> 3		
		目的は達成し終えている。	<input type="checkbox"/> 1		
	効果の範囲	効果はかなり広範囲の市民にいきわたるもの	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業が市民に対してどの程度の行政効果を生むのかを評価する。
		効果は適度に市民におよぶもの	<input type="checkbox"/> 3		
		効果が特定の個人や団体に限られるもの	<input type="checkbox"/> 1		
効果の期待	事業の実施に伴いその効果が期待できる。	<input type="checkbox"/> 5	0	補助事業内容の適正性を評価する。	
	事業を実施するがその効果は現状と変わらない。	<input type="checkbox"/> 3			
	事業を実施するがその効果が上がることが期待できない。	<input type="checkbox"/> 1			
	社会情勢の変化に伴いその効果が薄れている。	<input type="checkbox"/> 1			

● 該当するもの全てにチェックしてください。

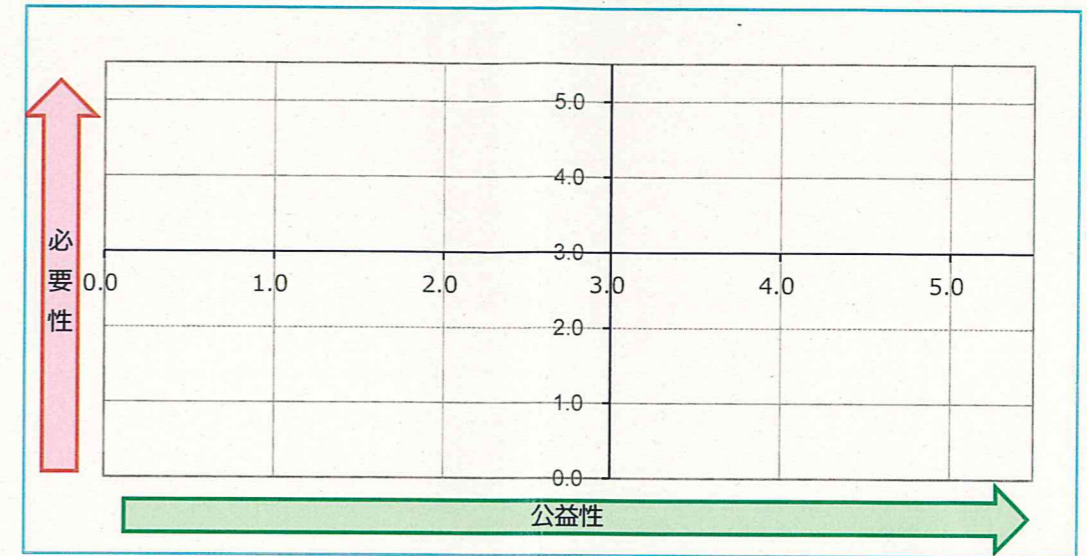
その他の評価	経費的な観点	会計処理及び使途が適切である。	<input type="checkbox"/>	個々の視点から、補助金の支出が妥当であるかを検証します。
		決算において繰越金・余剰金が補助金等額を超えていない。	<input type="checkbox"/>	
		他市の同種、同類の補助金等と比較して補助率や金額が突出していない。	<input type="checkbox"/>	
	形態的な観点	形式的、習慣的な補助ではなく、補助対象事業の内容等が明確であり、補助金等の使途が曖昧ではない。	<input type="checkbox"/>	
		同一目的、類似事業がなく、整理統合することが適切ではない。	<input type="checkbox"/>	
		補助制度以外の方式に切り替えることが困難なもの。	<input type="checkbox"/>	
団体運営費補助金等	団体運営費	市の直接経費として計上することが適当ではない。	<input type="checkbox"/>	上記の視点に加えて団体の運営等に関する視点からも評価します。
		団体等が事業効果の向上に努力している。	<input type="checkbox"/>	
		交際費、慶弔費、懇親会等の飲食代に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		直接事業に係わらない視察旅行(慰労的)に対して交付していない。	<input type="checkbox"/>	
		団体経費の大半が運営費ではない。	<input type="checkbox"/>	
		決算額に対して会議費等の割合が高くない。	<input type="checkbox"/>	
		会費を徴収している等、自主財源の確保に努めている。	<input type="checkbox"/>	
自主運営に移行する努力を行っている。	<input type="checkbox"/>			

※ 「団体運営費補助金等についての評価」欄は、団体運営に対して補助金を交付している場合のみ記入して下さい。

必要性 …… 必要性、目的の重要度
公益性 …… 効果の範囲、効果の期待
将来性 …… 将来性、目的の達成度

必要性を縦軸、公益性を横軸とする。
 必要性、公益性の平均値をクロスさせる。
 必要性と公益性のクロス位置に将来性の平均値を示す。

《 補助金等評価相関図 》



《 補助金等評価委員の意見 》

公益性について	<効果の範囲及び効果の期待について> .
---------	-------------------------

必要性について	<必要性及び目的の重要度について> .
---------	------------------------

将来性を踏まえた今後のあり方	<将来性及び目的達成度について> .
----------------	-----------------------